



産業カウンセラーの資格も持った
メンタルヘルス研修のプロフェッショナルによる



DVDセミナー 管理監督者のための 職場のメンタルヘルス

精神疾患による休職者は年々増えています。それと同時に精神障害での労災申請件数、認定件数も増加傾向です。休職者が増えれば、企業活動は順調に回っていきません。メンタルヘルスは企業の社会的責任(CSR)というばかりでなく、従業員と組織に活力をもたらす積極的なアプローチです。

また、正しいメンタルヘルス対策を取らず社員が自殺などした場合は、裁判になって、多額の損害賠償を求められたり、マスコミざたになり、社会的信用を失墜させる可能性があります。

以下は、実際にあった裁判例です。

【電通事件:初めて過労死自殺に企業の損害賠償責任を認めた事例】
入社してから1年5ヶ月間、ほとんど休まず、毎日日付が変わるまで働き、うつ病にかかって自殺した男性の両親が会社に損害賠償をを求める裁判を起こした。

→1審、2審とも民法715条に基づく使用者責任を認め、企業に損害賠償の支払を命じた。東京高裁の勧告に従って和解が成立。電通が遺族に支払った額は約1億6,800万円。

【相談担当者の対応の不適切さが問題とされた裁判】

大阪府門真市の精密機器製造会社社員が、業務の引継ぎ等で多忙を極め、12日間連続で出勤し、13日目に脳内出血で倒れ、意識が戻らず後遺症が残り、全身介護が必要な状態となった。

→過労と脳内出血の因果関係を認め、安全配慮義務違反として、企業に約1億9800万円の損害賠償の支払を命じた。



【パワハラが原因で自殺したと認められる事件で企業の責任を認めた裁判】

長時間の加重労働により、2001年9月より3年間の休職を余儀なくされていた女性が、休職期間の満了と同時に解雇された。

→2008年4月東京地裁は、女性の訴えを認め、解雇無効と未払い賃金・慰謝料等約2,700万円の支払いを命じた。(2009年9月現在、控訴中)



小林 富佐子
こばやし ふうさこ

- 小林マネジメントサービス代表
- 特定社会保険労務士
- 産業カウンセラー
- 行政書士
- ビジネスコーチ

大学卒業後、秘書検定1級を取得し、社長付秘書として5年間勤務。その後、行政書士、社会保険労務士の資格を取得。平成13年独立して小林マネジメントサービス開設。平成16年産業カウンセラー資格を取得し、社団法人産業カウンセラー協会のメンタルヘルス研修講師として活躍。企業の管理職を対象としたメンタルヘルス研修の他、各種団体にてコミュニケーションの研修講師としても活躍している。トータルライフ人間学に根ざした人間関係の在り方を織り込んだ研修を得意としている。

会員制 人事・労務支援サイト

人事労務
kaiketsu-j.com



お申し込み・詳細はホームページまで

<http://www.kaiketsu-j.com>

御社の対策は、万全ですか？

「メンタルヘルスの対策を行なうのは産業医など、専門家の仕事だ」と思っていないでしょうか？でも、「普段」を知っている管理監督者が異常に気付けなければ、対応が手遅れになってしまいます！また、管理監督者にも「安全配慮義務」がありますから、部下がうつ病になり自殺したとき、会社だけではなく、上司個人が損害賠償の責任を負うこともあるのです！

会社として大切なのは管理監督者に適切な研修を行い、管理監督者がいざというとき、部下の変化に「気付き」、適切な「声かけ」をし、必要であれば専門家につなげる、ということです。

厚生労働省も企業の取り組みを示した指針のなかで、管理監督者の役割を重視し、そのための教育を行うよう求めています。
このDVDさえ見れば、管理監督者が適切なメンタルヘルス対策をとれるようになります。

メンタルヘルス不全の予防法、ストレスの基礎知識、うつ病の基礎知識、休職者の支援と、この1本でメンタルヘルス対策に関する基本知識はすべて網羅しています。



【このDVDで取り上げている内容】

- 企業がメンタルヘルス対策をしないと、なにが起るのか？
- 企業に課せられた「安全配慮義務」とは？
- メンタルヘルス対策における「4つのケア」とは？
- ストレスの要因にはどのようなことがあるか？
- ストレスチェックシート〈1〉
大きなストレスになる事項にはなにがあるか？
- ストレスチェックシート〈2〉
今、どれくらいストレスがあるかをチェック
- ストレスを解消、軽減するために必要なこととは？
- ストレスを溜めやすい部下をどう見抜く？
- ストレスがあった場合、体にはどのような不調が生じるか？
- ストレスに強くなるためには、何をすればいい？
- うつ病とはなにか？
- うつ病の主な症状とは？
- うつ病の発症原因は？
- うつ病の人が出すサインとは？
- うつ状態の人の話はどう聴けばいい？
- 社員の休職の場合、何をしたらいい？
- 職場復帰への道筋はどう立てる？
- 復帰してきた社員のフォローはどうする？
- リハビリ出勤とは？
- 休職中のリハビリ出勤、復職後のリハビリ出勤、休職中と復職後にリハビリ出勤
……それぞれのメリット・デメリットとは？
★「リハビリ出勤に関する覚書」の作成例つき



これだけ知っていれば、社員や部下に変化が現われたとき、その兆候にいち早く気付き、適切な対応を取ることができます。

大切な社員、部下をうつ病や死から守るために、すべての管理監督者に見ていただきたい内容です。

【このDVDの特徴】

- 話の聴き方
- 声かけの仕方
- 相談の受け方

3つのシーンを紙芝居にしています。

どのようなことに気をつけてコミュニケーションを図るといいのか、分かりやすくなっています。

DVD

定 価

28,000 円 (税込) DVD2枚 (収録時間約2時間半)

CD-ROM (「リハビリ出勤に関する覚書」・レジュメのデータ・紙芝居のイラストデータ)・音声CD・レジュメ付き

